

【算数】

「※」は学習するときのヒントです。



分度器 三角定規
分度器と三角定規
セットを用意しよう。



<学習内容>

◆「角」（教科書 67 ページ～68 ページ）

分度器を使って、いろいろな角をかきます。

- (1) 分度器を使って、 35° の角をかきます。教科書 67 ページを参考に、四角の中に言葉や数を書き入れましょう。

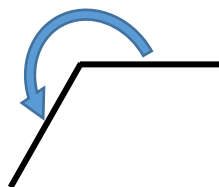
①辺 をかく。

②分度器の を点アに合わせて、 $^\circ$ の線を辺アイに重ねる。

③ $^\circ$ を表すめもりのところに、点ウをうつ。

④点アと点ウを通る をかく。

- (2) 分度器を使って、 240° の角をかきましょう。



あれ？ 分度器は 180° までしかないよ。





180° より大きい角度は、どうやってかけばいいのかな？

180° より大きい角度をはかったときのように、工夫すればかけるかな。



- (3) 次の2つの考えをもとに、 240° の角のかき方を、言葉や式、図などを使って説明しましょう。

「 180° と、あと何度」で考える	「 360° より、何度小さい」で考える
 <p>※240°は、180°と何度を足せばよいか考えよう。</p>	 <p>※360°より何度小さいと、240°になるかな。式に表してみるといいよ。</p>

- (4) 教科書 68 ページの④・⑤を行い、ノートか取組シートにかきましよう。
- (5) 教科書 68 ページの「直線が交わってできる角度」を読み、いろいろな直線をかいて角度を調べ、ノートか取組シートにかきましよう。



※2本の直線をいろいろな角度で交わらせて調べてみよう。気付いたことがあれば書いておくといいよ。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆角（教科書 P67～68）

- ・「 180° と、あと何度」や、「 360° より、何度小さい」などの見方を思い出し、「 240° も工夫すればかけるかも…」と、学びに向かおうとする姿勢を大切にしてください。

※インターネット上にある「まなびリンク『角のかき方』」で、角のかき方を動画で観ることもできます。

（教科書の P4 に、QR コード・HP アドレスがついています。）